

# 震災孤児を受け入れ

## 学費や生活費を学校が負担

岡山龍谷高

僧侶・津田明導氏が私財をなげうち創設した「甘露育児院」が前身。1906年の東北地方大飢饉で親を亡くした福島、宮城、岩手の108人の子どもや、日清・日露戦争の孤児らを受け入れた。

宗門関係の岡山龍谷。入試は、試験官を  
高校(津田美津子校長、現地に派遣し筆記試験  
岡山県笠岡市)は3月 は行わず面接だけを行  
31日、東日本大震災で う。

保護者を亡くした孤児 授業料や寮費、生活  
を卒業まで受け入れる 費、制服や教材の学用  
ことを発表した。 品など年間約100万  
現在化する機会と思う。

男女各5人の10人を 円の経費すべてを同校  
受け入れ、1、2年生 が負担し、模試検定料、  
は12月31日、3年生は 私服の購入費、小遣い  
6月30日まで募集す など支援していく。 ど支援の輪も広がって

いる。温かく迎え入れ  
たい」と語る。  
同校は、1900(明治33)年に同市・本林  
寺の境内に本願寺派の

## 女子生徒20人を受け入れ

武蔵野女子中・高 授業料を免除

宗門関係の武蔵野女 あたり月額3万円の生  
子学院中学・高校(望 活補助費を支給。入試  
月伸造校長、西東京市) は行わず面接試験で判  
定する。

震災で被災した生徒20 望月校長は「子ども  
人を受け入れると発表 たちに学びの場を提供  
したい一心。本校に来  
した。

中学1年生から高校 3年生の女子生徒を募  
集。受け入れ期間は高 話している。

校卒業までの最長6年 問い合わせは同校  
間。授業料全額免除の 042(468)32  
ほか、在学期間は1人 65。